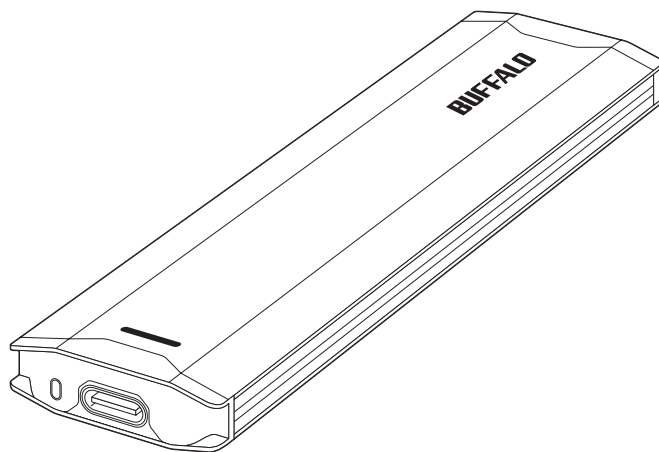


SSD-PHU3-Aシリーズ

パソコン接続時の補足情報



<https://www.buffalo.jp/>

35021779-01
2019.03

目次

Windows編	2
フォーマット(初期化)について	2
フォーマットの形式	2
フォーマット時のご注意	2
exFAT形式/NTFS形式/FAT32形式でフォーマットする	2
ソフトウェアのご紹介	3
Mac編	4
フォーマット(初期化)について	4
フォーマットの形式	4
フォーマット時のご注意	4
Mac OS拡張形式/exFAT形式でフォーマットする	5
Time MachineでMacをバックアップする	9
設定する前にご確認ください	9
設定する	9
メンテナンスについて	12
バックアップ	12
エラーチェック(スキャンディスク)	12
困ったときは	13
製品仕様	14

Windows編

フォーマット(初期化)について

フォーマットとは、ドライブをお使いのパソコンでできるようにする作業です。本製品をフォーマットする場合は、本書に記載の手順をご参照ください。

フォーマットの形式

フォーマットにはいくつかの形式があり、お使いのOSによって認識できる形式が異なります。本製品をフォーマットするときは、以下のいずれかの形式でフォーマットしてください。

メモ: 本製品の出荷時フォーマット形式は、本書の[「製品仕様」\(P.14\)](#)をご参照ください。

	exFAT形式	NTFS形式	FAT32形式	Mac OS拡張形式 ※フォーマット手順は、「Mac編」をご参照ください。
Windows	◎	◎	○	×
Mac	◎	△	○	◎

◎: 読み取り、書き込みとも可能です(4GB以上のファイルも扱えます)。

○: 読み取り、書き込みとも可能です(4GB以上のファイルは扱えません)。

△: 読み取りだけ可能です。書き込みはできません(4GB以上のファイルも扱えます)。

×: 使用できません(認識しません)。

フォーマット時のご注意

- ・ フォーマットすると、ドライブ内のデータはすべて消去されます。
ドライブのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
フォーマットする前に、ドライブ内のデータをすべて削除してよいか、もう一度よく確認してください。
- ・ フォーマット中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。
ドライブが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。

exFAT形式/NTFS形式/FAT32形式でフォーマットする

当社ソフトウェア「DiskFormatter2」でフォーマットを行います。[DiskFormatter2ダウンロードページ](#)からソフトウェアおよび取扱説明書をダウンロードしてください。

ソフトウェアのご紹介

本製品は、以下の当社ソフトウェアに対応しています。

メモ:

- ソフトウェアを使用しなくても、データの書き込み、読み取りは行えます。
- 対応OSは、当社ホームページ(<https://www.buffalo.jp/>)の本製品情報ページにある「仕様」をご覧ください。

ソフトウェア名	概要	ソフトウェアのインストール先	ダウンロードページ
DiskFormatter2	製品のフォーマット作業を簡単・スピーディーに実行します。	パソコン内 (Windowsのみ)	DiskFormatter2ダウンロードページ
SecureLock Mobile2	製品に書き込むファームウェアを簡単に暗号化・復号します。	製品内 (Windowsのみ)	SecureLockMobile2ダウンロードページ

Mac編

フォーマット(初期化)について

フォーマットとは、ドライブをお使いのパソコンで使用できるようにする作業です。本製品をフォーマットする場合は、本書に記載の手順をご参照ください。

フォーマットの形式

フォーマットにはいくつかの形式があり、お使いのOSによって認識できる形式が異なります。本製品をフォーマットするときは、以下のいずれかの形式でフォーマットしてください。

メモ: 本製品の出荷時フォーマット形式は、本書の[「製品仕様」\(P.14\)](#)をご参照ください。

	exFAT形式	NTFS形式 ※ フォーマット手順は、 「Windows編」をご参照 ください。	FAT32形式 ※ フォーマット手順は、 「Windows編」をご参照 ください。	Mac OS拡張形式
Windows	◎	◎	○	×
Mac	◎	△	○	◎

◎: 読み取り、書き込みとも可能です(4GB以上のファイルも扱えます)。

○: 読み取り、書き込みとも可能です(4GB以上のファイルは扱えません)。

△: 読み取りだけ可能です。書き込みはできません(4GB以上のファイルも扱えます)。

×: 使用できません(認識しません)。

フォーマット時のご注意

- **フォーマットすると、ドライブ内のデータはすべて消去されます。**
ドライブのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
フォーマットする前に、ドライブ内のデータをすべて削除してよいか、もう一度よく確認してください。
- フォーマット中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。
ドライブが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。

Mac OS拡張形式/exFAT形式でフォーマットする

本製品をMac OS拡張形式またはexFAT形式でフォーマットする手順を説明します。

詳しい手順は、Macのヘルプを参照してください。

メモ: OSによって手順が異なります。macOS 10.12の手順は、後述の「[macOS 10.12](#)」(P.7)をご参照ください。

macOS 10.14～10.13

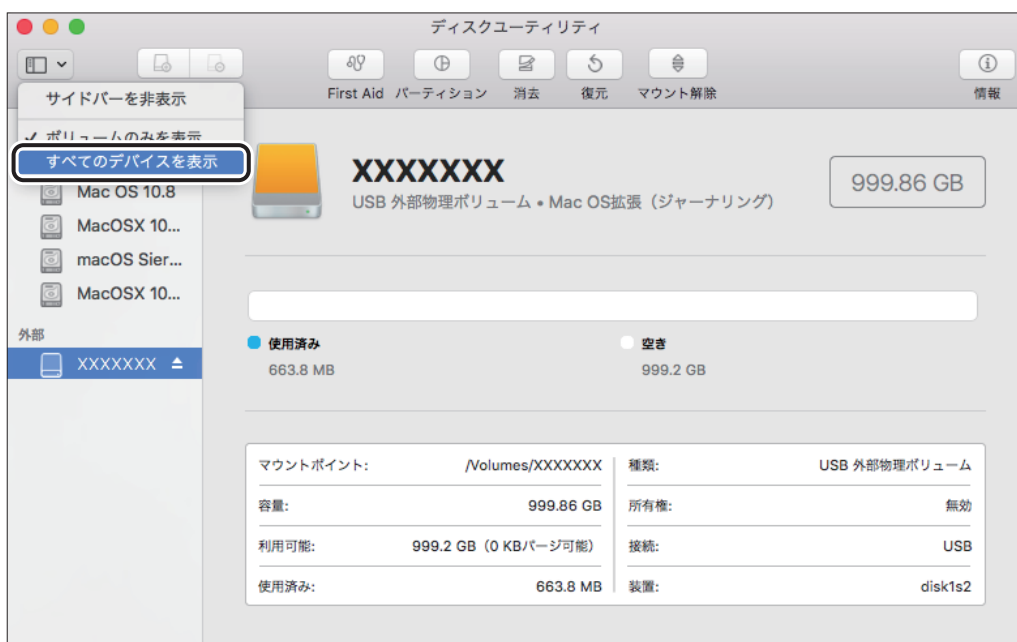
1  をクリックして[Finder]を表示します。

2 [移動]メニューの[ユーティリティ]を選択します。



3 [ディスクユーティリティ]をダブルクリックします。

4  をクリックして、[すべてのデバイスを表示]を選択します。



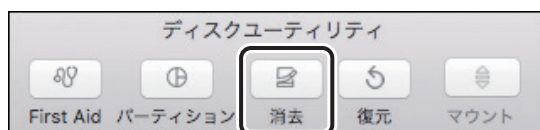
5 フォーマットするドライブをクリックします。

メモ:

- ・ 製品によって表示される名称は異なります。
- ・ フォーマットする対象を間違えないよう、ご注意ください。



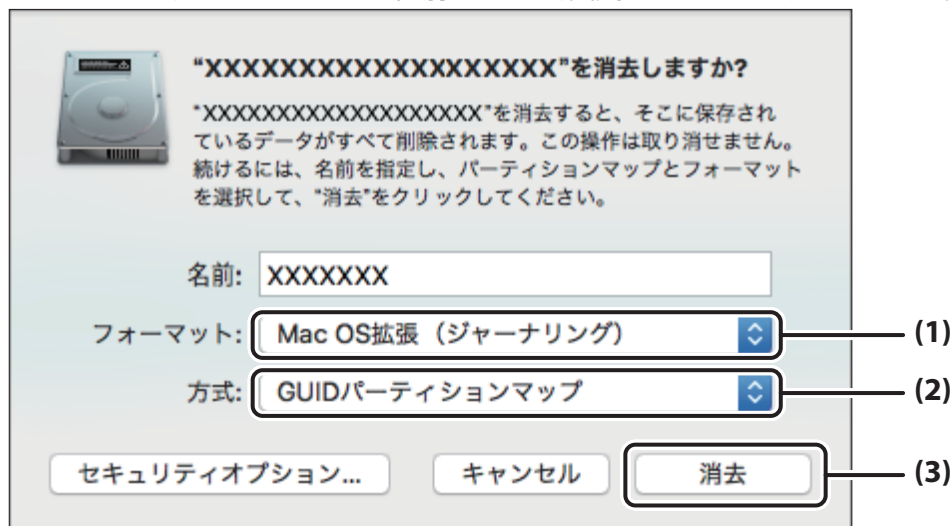
6 [消去]をクリックします。



7 各項目を設定します。

- (1) Mac OS拡張形式でフォーマットする場合は、[Mac OS拡張(ジャーナリング)]を選択します。
exFAT形式でフォーマットする場合は、[exFAT]を選択します。
- (2) [GUIDパーティションマップ]を選択します。
- (3) [消去]をクリックします。

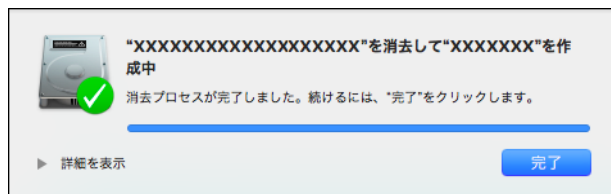
メモ:「名前」では、Macに本製品が認識されたときの表示名を設定できます。初期設定のままフォーマットできますが、ほかのドライブと区別するため、変更することをおすすめします。



8 フォーマットが開始されます。

メモ:「Time Machineでバックアップを作成するために“(ボリューム名)”を使用しますか?」と表示されることがあります。Time Machineを使用してパソコンのデータを本製品にバックアップする場合は、[バックアップディスクとして使用]をクリックし、Time Machineを設定してください。Time Machineを使用しない場合は、[使用しない]をクリックしてください。

9 完了した旨のメッセージが表示されたら[完了]をクリックします。



以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

macOS 10.12

1 をクリックして[Finder]を表示します。

2 [移動]メニューの[ユーティリティ]を選択します。

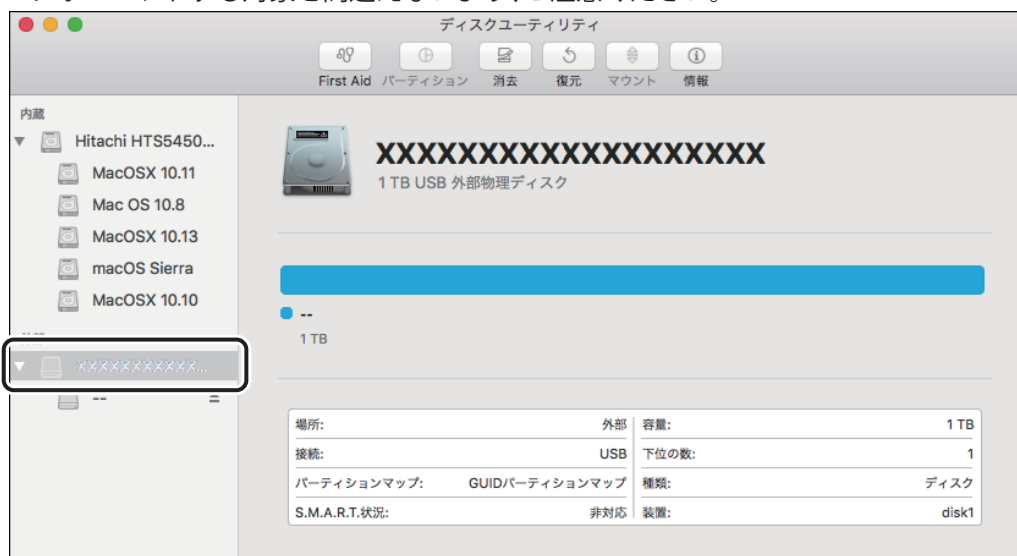


3 [ディスクユーティリティ]をダブルクリックします。

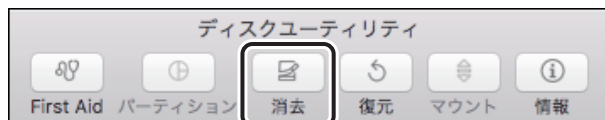
4 フォーマットするドライブをクリックします。

メモ:

- ・ 製品によって表示される名称は異なります。
- ・ フォーマットする対象を間違えないよう、ご注意ください。



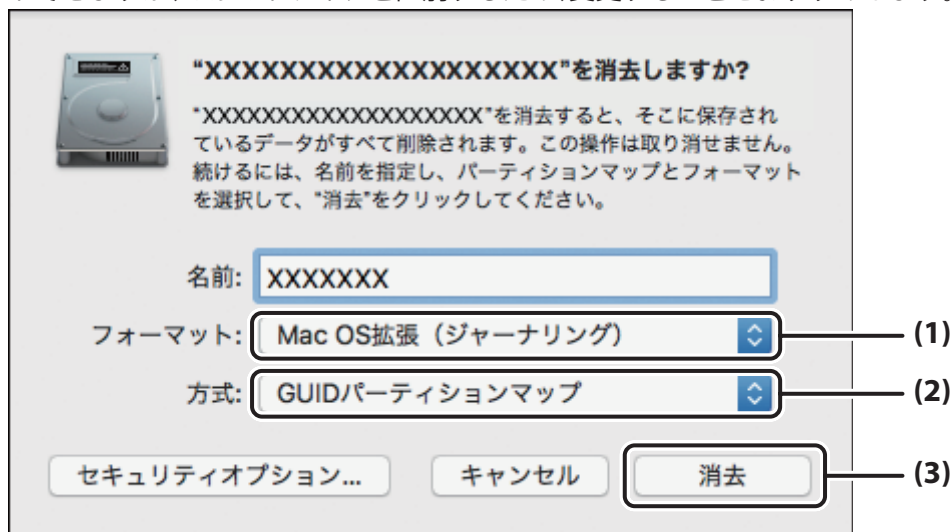
5 [消去]をクリックします。



6 各項目を設定します。

- (1) Mac OS拡張形式でフォーマットする場合は、[Mac OS拡張(ジャーナリング)]または[OS X拡張(ジャーナリング)]を選択します。
exFAT形式でフォーマットする場合は、[exFAT]を選択します。
- (2) [GUIDパーティションマップ]を選択します。
- (3) [消去]をクリックします。

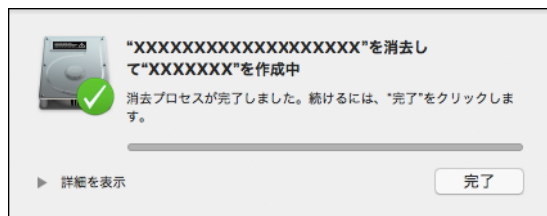
メモ:「名前」では、Macに本製品が認識されたときの表示名を設定できます。初期設定のままフォーマットできますが、ほかのドライブと区別するため、変更することをおすすめします。



7 フォーマットが開始されます。

メモ:「Time Machineでバックアップを作成するために“(ボリューム名)”を使用しますか?」と表示されることがあります。Time Machineを使用してパソコンのデータを本製品にバックアップする場合は、[バックアップディスクとして使用]をクリックし、Time Machineを設定してください。Time Machineを使用しない場合は、[使用しない]をクリックしてください。

8 完了した旨のメッセージが表示されたら[完了]をクリックします。



以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

Time MachineでMacをバックアップする

Macに搭載されたバックアップ機能「Time Machine」を設定することで、本製品にMacのデータをバックアップできます。

設定する前にご確認ください

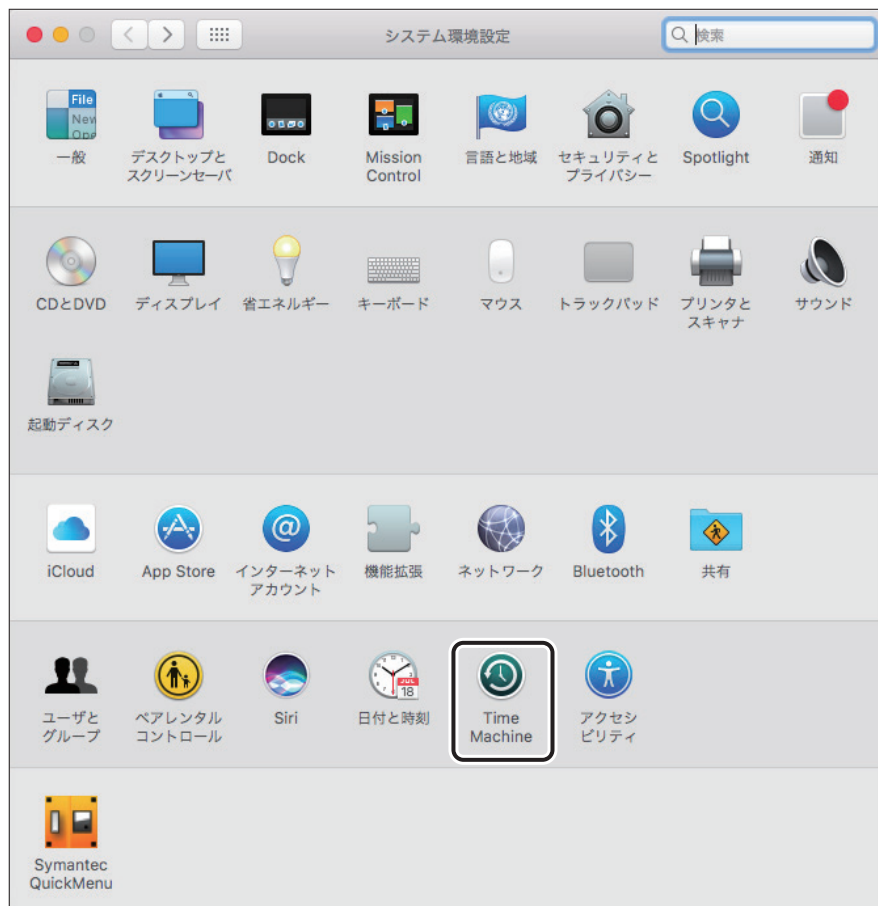
- 本製品をMac OS拡張形式以外でフォーマットしている場合、設定する前にMac OS拡張形式でフォーマットしてください。Mac OS拡張形式以外でフォーマットされていると、Time Machine設定時などにエラーが発生することがあります。
- お使いの環境によっては、Time Machine設定時に本製品がフォーマットされ、本製品内のデータが消去されることがあります。Time Machineの設定を行う前に、本製品内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- Time Machineの設定後は、本製品の「Backups.backupdb」フォルダーのデータを削除しないでください。Time Machineでバックアップしたデータは、本製品の「Backups.backupdb」フォルダーに保存されます。Time Machineで保存されたデータを削除した場合、バックアップを復元できないことがありますのでご注意ください。

設定する

Time Machineの設定手順を説明します。

1 アップルメニューから[システム環境設定]を選択します。

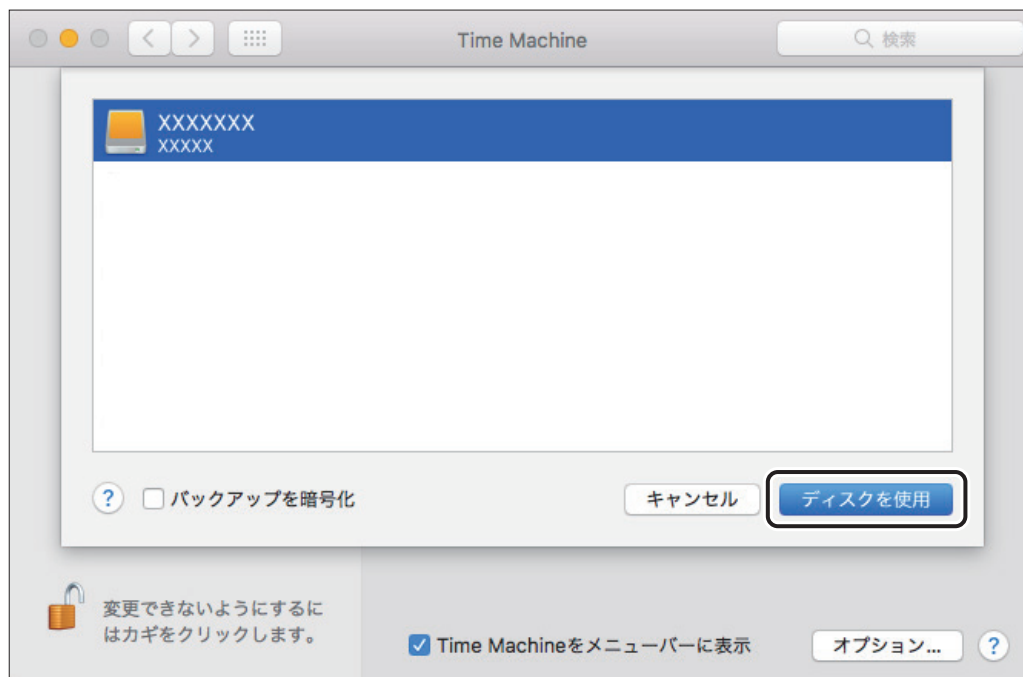
2 [Time Machine]をダブルクリックします。



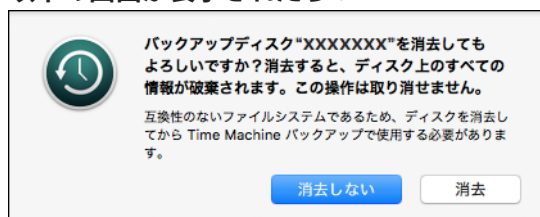
3 [バックアップディスクを選択]をクリックします。



4 本製品を選択して、[ディスクを使用]をクリックします。



以下の画面が表示されたら？



本製品のフォーマットが必要です。[消去]をクリックして、画面に従ってフォーマットしてください。

メモ:

- 本製品内のデータはすべて消去されます。本製品内に必要なデータがある場合は、[消去]をクリックする前にバックアップしてください。
- 「Time Machineのエラー」と表示された場合、本製品がMac OS拡張形式でフォーマットされていない可能性があります。本製品を取り外した後、接続しなおし、Mac OS拡張形式でフォーマットしてください。フォーマットが完了したら、手順1からやり直してください。

5 「バックアップを自動作成」にチェックが入っていることを確認します。

以上で設定完了です。設定後、自動的にバックアップが始まります。

バックアップは、バックグラウンドで行われるため、Macの操作やシャットダウンなどは、通常どおり行えます。

復元やバックアップ対象の変更などについての詳細は、Macのヘルプを参照してください。

メンテナンスについて

バックアップやエラーチェックなど日ごろのメンテナンスについて説明します。

バックアップ

誤動作やウイルス、落雷などの自然災害、本製品の故障など、万一の事態に備え、本製品内のデータは定期的にバックアップすることをおすすめします。

バックアップとは、本製品以外の場所(ほかのドライブなど)にデータを複製(コピー)することです。

万一、本製品内のデータが消失・破損した場合でも、バックアップ時に複製したデータを利用できます。

なお、バックアップ後に変更した内容は、バックアップしたデータには反映されません。定期的にバックアップを行うことで、損失を最小限にすることができます。

エラーチェック(スキャンディスク)

WindowsやMacには、ドライブのエラー(異常)をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。本製品を安全に使用するために、定期的にチェックすることをおすすめします。

エラーのチェック方法は、WindowsやMacのヘルプやマニュアルを参照してください。

困ったときは

よくあるご質問とその回答を下記ホームページでご案内しています。
QRコードを読み込むことでもアクセスできます。



86886.jp/hddpc
(http://www 不要)

製品仕様

最新の製品情報や対応するパソコンについては、カタログまたはインターネットホームページ (<https://www.buffalo.jp/>) を参照してください。

インターフェース		USB 3.1 (Gen 2/Gen 1)/3.0/2.0
端子		USB Type-C
データ転送速度(理論値)		最大 10Gbps
出荷時フォーマット形式		NTFS
外形寸法(幅×高さ×奥行) ※本体のみ(突起物除く)		103×31.5×9.8mm
電源		USBバスパワー
動作環境	温度	5～35℃ ^{※1}
	湿度	10～85%(結露なきこと)
対応OS	Windows ^{※2}	Windows 10(64ビット、32ビット) ^{※3} Windows 8.1(64ビット、32ビット) Windows 7(64ビット、32ビット)
	Mac	macOS 10.12以降
「デバイスマネージャー」表示名 (Windows)		BUFFALO SSD-PHU3-A USB Device または BUFFALO SSD-PHU3-A SCSI Disk Device

※1 夏場など高温になる環境で連続してデータの書き込みを行うと、本製品が熱くなる場合がありますが、異常ではありません。使用中や使用直後に本製品に触れるときは、ご注意ください。

※2 Windowsの機能を使って、本製品に仮想メモリーを設定しないでください。

※3 Windows 10 Sモードは、ダウンロード提供ソフトウェアには対応していません。フォーマットする場合は、OS標準の機能をご利用ください。